

理念

私たち国立病院機構は

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために
たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに
患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し
質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

国立病院機構の運営方針 ～良質な医療を効率的な運営で～

診療事業

- 医療の提供
- 国の医療政策への貢献
- 地域医療への貢献

臨床研究事業

- 診療情報の収集・分析と情報発信機能の強化
- 大規模臨床研究の推進
- 迅速で質の高い治験の推進
- 先進医療技術の臨床導入の推進
- 臨床研究や治験に従事する人材の育成

教育研修事業

- 質の高い医療従事者の育成・確保
- 地域医療に貢献する研修事業の実施

医療の向上、
公衆衛生の
増進

目次

理事長挨拶	P3	■臨床研究事業	
NHOビジョン	P4	・臨床研究	P14
法人概要	P5	■教育研修事業	
■診療事業		・医師のための教育研修	P16
・5疾病・6事業	P6	・質の高い看護師等の育成	P18
・地域医療	P7	■財務・経営	P20
・災害等における活動	P8	■業務実績	P21
・新興感染症等への対応	P10	全国140の病院ネットワーク	P23
・セーフティネットとしての確実な医療提供	P11		
・医療の質・患者満足度向上のための取組	P12		
・医療安全対策の充実	P13		

ロゴマーク

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上を、飛翔する「翼」であらわし、柔軟な意識改革を示す毛筆で描きました。
また、Health、Hospitalそして患者本意の懇切丁寧を意味するHospitalityの頭文字である「H」であらわし、健全な土台として描き、「翼」と組み合わせました。



理事長挨拶

独立行政法人国立病院機構

理事長 新木 一弘



平素より、国立病院機構の運営にご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

我が国では、2040年頃に向けて本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎えようとしている中で、求められる医療の形も大きく変化していきます。医療・介護などのサービス提供体制について、今後のニーズや人口動態の変化を踏まえ、質の高いサービスを効率的・効果的に提供できる体制を構築する観点から、地域包括ケアシステム及び地域医療構想(医療の機能分化と連携)の更なる推進、人材の確保・育成、働き方改革、デジタル技術の著しい進展に対応していくことなどが必要とされています。

このような状況に対応するため、法人全体としてどのような方向で運営を行っていくかを示すための指針として令和6年12月に「NHOビジョン」を策定しました。

各病院が引き続き患者さんをはじめとする地域の方々に一層信頼されるためには、地域から求められる医療を安定的かつ継続的に提供していくことが重要です。機動性・柔軟性のある運営への見直しを進め、長期的な視点で業務運営を行いながら、法人全体として経営の持続的な健全性が保たれるように取り組んでまいります。

また、最も重要な経営資源である人材育成の取組として、令和7年4月には病院運営・経営の要となる事務部門の職員の将来目指すべき姿を掲げる「国立病院機構事務部門人材育成ビジョン」を策定しました。本ビジョンの実現によって病院が健全に経営され、地域医療提供体制の確保や国の医療政策へ継続的に貢献することが期待されます。

さらに、職員の安全な就業環境を確保するため、令和7年9月にカスタマーハラスメントに対する基本方針をお示ししました。この取組により職員が安心して業務に取り組むことが可能となり、ひいては患者さんやご家族との関係性をより良いものとするにつながると考えております。

今後も、強みであるスケールメリットを生かして資金を有効活用し、法人経営の持続的な健全性が保たれるよう、経営改善に向けた不断の取組を進めてまいります。

皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

NHOビジョン

今後の国全体の医療需要等の動向を踏まえたNHOが直面する課題を整理し、以下の3点を、改革の方向性としています

NHOの強みであるスケールメリットや病院の多様性を活かして、各病院の個性を発揮しつつ互いに連携しながら、地域のニーズに応じた質の高い医療を提供

人材不足等が進む中で、安定して医療を提供していくため、病院・グループ・本部が一体となって、全職員が安心して、誇りをもって働くことができる職場づくり

NHOが求められる役割を果たし、法人全体として持続可能な運営を維持していくため、着実な経営改善の推進

NHOビジョンにつきましては、次のページをご覧ください。